

調理師免許申請書記入例

宮城県収入証紙
5,800円分を貼ること

※証紙同士が重ならないように貼ってください。
申請用紙からはみ出ないように注意してください。

※キャッシュレス決済の場合は裏面にレシート(提出用)を貼り付けること。

様式第一 (第一条関係)

調理師免許申請書

1 学校教育法第57条の規定により高等学校の入学資格を有する者に該当することの有無。

☒ 有 ☐ 無

2 免許取得資格について、該当するどちらかに年月を記入すること。

(1) 調理師法第3条第1号(調理師養成施設卒業) 令和7年3月卒業

(2) 調理師法第3条第2号(調理師試験合格) 年 月 合格

3 調理師免許取消し処分の有無。(有の場合、その理由及び年月日)

☐ 有 ☒ 無

4 麻薬、あへん、大麻又は覚せい剤の中毒者に該当することの有無。

☐ 有 ☒ 無

5 罰金以上の刑に処せられたことの有無。(有の場合、その罪、刑及び刑の確定年月日)

☐ 有 ☒ 無

6 旧姓併記の希望の有無。

☒ 有 ☐ 無

上記により、調理師免許を申請します。

申請日を記入すること。

令和7年3月10日

本籍地都道府県名
(国籍) 宮城県

県名のみ記入すること。
外国籍の方は国籍を
記入すること。

電 話 022 (211) 2637

日中繋がりやすい電話番号を書くこと。
(確認のため窓口から連絡する場合があります)

住 所 〒980-8570 宮城県仙台市青葉区本町3-8-1

現住所を書くこと。

(氏名は、戸籍上の文字で記入すること)

ふりがな	(氏) みやぎ	(名) たろう
氏 名	宮城	太郎
	(旧姓) 仙台	太郎
通 称 名		

性 別	☒ 男
	☐ 女

戸籍どおりの文字で記入すること。

生年月日 昭和 平成 令和 西暦 15 年 8 月 9 日

旧姓又は通称名の併記を希望する場合に記入すること。
希望しない場合は、空欄とすること。
※通称名は記載をもって併記を希望したものとみなします。
(誤って記載した場合は、二重線で取り消すこと)

宮城県知事 村井 嘉浩 殿

備考 1 該当する不動文字を○で囲むこと。

2 用紙の大きさは、A4とすること。

3 所定の手数料の額に相当する県の発行する収入証紙をはり付けること。

4 行政手続条例(平成7年宮城県条例第30号)第6条に基づく標準処理期間は、20日間とする。

※免許証に併記できるのは、
旧姓又は通称名のいずれかのみです。

(添付書類)

【調理師養成施設卒業者】

☐ 調理師養成施設の卒業証書の写し又は卒業証明書(原本)

※卒業証書の写しを添付書類とする場合には、窓口卒業証書原本を持参し照合を受けること

☐ 調理師養成課程履修証明書

☐ 戸籍抄(謄)本又は住民票の写し(本籍地が記載されているものに限る)

☐ 旧姓又は通称名の併記を行う場合には、現在の氏名等と併記仕様とする旧姓又は通称名が確認できる書類

⇒現在の氏名等と併記仕様とする旧姓又は通称名が確認できる戸籍抄(謄)本、

併記しようとする旧姓又は通称名が併記された住民票

【試験合格者】

☐ 調理師試験合格通知書

☐ 戸籍抄(謄)本又は住民票の写し(本籍地が記載されているものに限る)

☐ 旧姓又は通称名の併記を行う場合には、現在の氏名等と併記仕様とする旧姓又は通称名が確認できる書類

⇒現在の氏名等と併記仕様とする旧姓又は通称名が確認できる戸籍抄(謄)本、

併記しようとする旧姓又は通称名が併記された住民票